

## 日本伝熱学会関西支部 第25期 第2回講演討論会

日時：2018年7月26日（木）13:30-17:00

会場：龍谷大学大阪梅田キャンパス

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階

[http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus\\_traffic/traffic/t\\_osaka.html](http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_osaka.html)

13:30-14:15 澤井 徹 氏（近畿大学理工学部）

題目：熱処理バイオ固体燃料のエネルギー特性と品質評価

概要：固体バイオ燃料の改質方法の一つに熱処理がある。熱処理燃料は改質効果が得られる一方エネルギーの投入を要するため正味のエネルギー量解析が重要となる。解析に必要となるバイオ燃料のエネルギー特性を熱分解反応モデルから推定すると共に熱処理バイオ燃料の非破壊的品質評価方法について概説する。

14:15-15:00 岡 好浩 氏（兵庫県立大学工学研究科）

題目：キャビテーションプラズマ装置の開発と応用

概要：キャビテーションプラズマ法は、液中に設置した対向電極に高繰り返し高電圧パルスを印加することによって、キャビテーション気泡内に低温プラズマを効率よく発生させる手法である。本講演では、独自に開発したキャビテーションプラズマ装置とその応用例について紹介する。

15:00-15:20 休憩

15:20-16:05 久保 洋平 氏（株式会社神戸製鋼所 技術開発本部）

題目：拡散接合型マイクロチャンネル熱交換器の適用事例と現状の課題

概要：地球温暖化抑制、船舶の排ガス規制強化、天然ガス需要増加のため、LNG利用が拡大しており、天然ガス開発は非在来型のガス田へと移行している。そこで、FGSS、FPSO等のLNG関連の機器として、小型で高性能の熱交換器の需要が高まっている。本講演ではマイクロチャンネル熱交換器DCHE(Diffusion-bonded Compact Heat Exchanger)の特徴や適用事例、現状の課題や開発動向について紹介する。

16:05-16:50 脇本 辰郎 氏（大阪市立大学工学研究科）

題目：界面活性剤水溶液の円管内流れにおける抵抗低減効果とミセル高次構造の関係

概要：ある種の界面活性剤水溶液では、管内流れの抵抗が著しく低減されることが知られている。本講演では、流動下における活性剤分子のミセルの高次構造を蛍光プローブ法で測定し、抵抗の低減効果との関係について検討した結果を述べる。

16:50-17:00 写真撮影

17:30頃～ 意見交換会

会場：講演討論会会場周辺

会費：4000円程度

講演会・意見交換会のご出席を関西大学 小田 豊 (oda.y@kansai-u.ac.jp) 宛てに『7月18日(水)』迄にお知らせください。

## 龍谷大学大阪梅田キャンパスへのアクセス

- JR大阪駅桜橋出口から徒歩4分
- 大阪市営地下鉄 四つ橋線 西梅田駅 3番出口すぐ 地下通路で直結



龍谷大学大阪梅田キャンパス  
(ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階)